

第16回 10万人会議

リハビリの未来構想を考える

7月20日(土)14時

第16回10万人会議

参加…168名

テーマ…①地域リハ・生活期リハの実践と南医療生協のリハビリの未来構想を考える

②南大高駅前土地活用の進捗状況について確認す



体験を熱く語る加藤さんと千頭(ちかみ)さん

る。

有松診療所山本所長より、「介護予防でも終末期でも豊かな人生を送るためには、住み慣れた地域での生活期リハビリの充実が不可欠」と呼びかけられました。かなめ病院、老健あんきから報告の後、お二人(加藤さん、千頭さん)から脳出血や脳梗塞により歩行困難になったが、リハビリスタッフとの信頼関係の中で機能回復、「初めて歩くことが出来た」時の喜びなど体験をいきいきと語っていただきました。加藤さんはwishでのトレーニングが生活のハリになっていること、千頭さんは、現在、健康の友の配布や運営委員とし

て活躍されるようになっていくことも報告されました。西岡科長から前半のまとめがされ、リハビリ川柳も含めて楽しみながら理解を深める内容となりました。後半は、南大高駅前の事業について進捗報告と最後に事業を支える増資のネーミング募集の呼びかけがあり、閉会しました。

次回10万人会議のご案内

- *日時：8月17日(土) 14:00~16:30
- *場所：コープ健診フィットネスセンター 3階
- *テーマ：10月27日臨時総代会にむけて 駅前事業を支える運動づくり